

同窓会だより

編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL (058) 324-1201)

卒業生総数：

26,167人

旧	中：	2,571人
高	女：	2,592人
高	校：	21,004人



校門近くにある石碑（昭和63年度卒業記念）



同窓会会長に就任して

若原忠義

同窓会だより
第三〇号の
発行に当たり、

総会において承認を得、会長に就任することになりました。旧制中学校第十八回卒業の若原忠義であります。

母校本巣高校は、岐陽高校と統合し、全日制普通科の単位制高校とす

ることになります。つまり高女

から続く家政科が閉鎖されることに

なります。

新任の同窓会長としての挨拶を申し上げます。新任の同窓会長としての挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素より同窓会行事に対しまして深いご理解を賜り、ご指導とご協力をいただき、有難く厚くお礼を申し上げます。この度二十一世紀当初の区切りの良い年に当たる昨年、永い間本会の会長として幾多の事業を遂行され、立派な業績を残されまして、勇退の決意をされました前会長翠正明様の後継として

厚くお礼を申し上げます。この度二十一世紀当初の区切りの良い年に当たる昨年、永い間本会の会長として幾多の事業を遂行され、立派な業績を残されまして、勇退の決意をされました前会長翠正明様の後継として

はありますので、会員の皆様や校長先生を中心とする校内理事の諸先生、各卒業年次の理事の方や同窓会の役員の皆様の協力を得ることを期待いたしましてこの大役をお引き受けいたしました。前会長に賜りましたと同様、ご指導ご協力のほどをお願いする次第であります。

顧みますれば翠前会長さんには九年八月から五年間会長職を、その前には副会長として永年にわたり同窓会のために誠心誠意尽力されてきました。ご自宅が学校に近かつたとはいえ、母校を愛する情熱があればこそお引き受け下さったものと深く感謝し、ここに同窓生一同を代表させていただき紙面をお借りし厚くお礼を申し上げる次第であります。今後は当会の最高顧問として、良きアドバイスを賜りますようお願い致します。

新世紀に入り、我が母校本巣高等学校がその長い歴史と立派な校風、

同窓会では会長・副会長により急きよ会合が持たれ、同窓会としての要望を学校長に提出しました。現況は理解しながらも、(1)八〇余年の伝統校として、地域住民に中学・高女以来多くの卒業生を持ち、親しまれている「現在地」に、「本巣」の名稱は残すこと。(2)家政科については「存続」を要望するが、伝統の火を消すことの無いように授業科目内容で対応してほしい。の二点を要望しました。

即ち質実剛健・文武両道・清く正しく美しくの伝統を受け継いで益々発展して優秀なる人材を社会に送り出してくれますよう同窓生一同、老いも若きも一丸となつてお互いに親睦を図り、母校の隆盛に寄与してゆこうではありませんか。終わりに当たりまして同窓生各位の益々のご健勝とご多幸をお祈りしつつご挨拶とい

同窓会也要望を提出



同窓会事務局長 戸田文隆

ご挨拶

前会長 翠 正明

同窓会会員の皆様にはますますご健勝の段、お喜び申し上げます。

なお、同窓会の事業には格別のご協力を賜り、会の運営が円滑に行なわれている由、ご同慶に堪えません。

さて、私はこの度会長の職を退任させていただきましたが、在任中にはいろいろなことがございました。なかでも特に創立八十周年記念事業が最も記憶に残っています。同窓会の皆様ならびに関係者の皆様のご

平成十三年度本巣高等学校同窓会本部総会が、「ホテルグランベール岐山」において八月十一日(土)午後三時から行われた。今年度は、昭和四十六年三月卒業の同窓生を中心に、百三十名の参加者を迎えて盛大に行われました。総会は、翠正明同窓会

協力により、「同窓会館の建設」「記念式典」「祝賀会」「記念誌の発行」「同窓会会員名簿の発行」等が無事終了したことです。

私も、昭和十二年に理事に選任されて以来、常任理事、副会長等を歴任し、今日まで執行部にたゞさわってまいりました。さらにこの度顧問に推薦されることになりました。

本当に皆様のお陰で、なんとか職を全う出来ましたことに対して、改めて厚くお礼申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念しまして、退任のご挨拶といたします。



◆林久直氏による手品が披露

同窓会参加への呼びかけも積極的に行っていただきたいと思います。

懇親会は、高橋秀道さん(昭16卒)の乾杯で始まり、昭和34年卒の還暦組の特別出演や、林英さん(昭31卒)の艶やかな日本舞踊などで大いに場を盛り上げてくれました。年次別の記念撮影も旧交を暖める一助となり

同窓会会則により、新役員として選出されました。議事終了後、同会場にて喜寿祝が行われました。今年度となり二十二名の方々に記念品が授与されました。

総会終了後、会場を移して懇親会が開催されました。当番学年は卒業三百三十名前後で留まり、かつての二百名を超える参加数からすると大幅の減少であり、各学年理事の方々の総会参加への呼びかけも積極的に行つていただきたいと思います。

また、総会参加人数もここ数年間百六十名前後で留まり、かつての二百三十名前後で留まり、かつての二百名を超える参加数からすると大幅の減少であり、各学年理事の方々の総会参加への呼びかけも積極的に行つていただきたいと思います。

平成13年度支部総会は、4月22日に東京「アルカディア市ヶ谷」において開催。本部からは、翠会長、新井校長、戸田事務局長がご臨席、会員百六名の参加を得て、盛大に行ないました。最年長の参加者は、男性では、昭和8年卒の木野村扶桑さん、女性では昭和11年卒の佐々木紹子さん、最年少は平成4年卒の丸毛栄治さんでした。極めて幅広い年次にわたり、ご参会を得たことは、誠に喜ばしい限りです。総会では、来賓祝辞に次いで事業及び会計報告がなされました。

年次撮影の一コマ
(昭和24・25年卒業組)

会長・新井勝校長の挨拶に続いて、丸毛忠氏(昭36卒)を議長に選出し、左記の議案を審議し、原案通り承認されました。

- 一、平成十二年度事業・決算報告
- 一、会計監査報告
- 一、平成十三年度事業・予算案
- 一、役員について

前当時を振り返り、高校時代の思い出話に華を咲かせ、また余興には、林久直氏による手品も披露されなど、予定された二時間は華やいだ雰囲気の内に進められました。

平成十三年度予算収入は、同窓会入会金及び総会参加費を含めて二百二十四万六千円ですが、卒業生の減少(クラス数の減少)に伴い、ここ三年間で百二十名減少しました。さらに十四年度は四十名の減少となり、入会金(一人三千円)も大幅に減少し、本部会計も窮屈の状態になりつります。事業予算の削減または入会金の値上げということになりますが、事業予算の削減には限度があります。事業予算の削減または入会金の値上げを理事会で検討せざるを得ないと想います。

また、総会参加人数もここ数年間百六十名前後で留まり、かつての二百三十名前後で留まり、かつての二百名を超える参加数からすると大幅の減少であり、各学年理事の方々の総会参加への呼びかけも積極的に行つていただきたいと思います。

◆ 関東支部

ました。

また恒例の「おたのしみゲーム」として「ふるさと方言ビンゴ」を楽しみました。「おそえたる」「かんこうしとく」「くんさい」「ちようすい」とるなど、などの言葉に故郷を懐かしくなり、爆笑したりの一時でした。それから支部としては誠に悲しいお知らせですが、元支部長の神谷春樹先輩（昭16卒）が逝去されました。永年にわたるご尽力に対し、支部一同ご遺徳ご功績を偲んで心から感謝しております。

支部長 真道晃雲

「戦中戦後の在学六年」

昭和25年卒 杉山佐太雄

私は昭和19年に入学し、中学四年間・新制高校二年間の中高一貫教育を受け、厳しい状況のなか「ゆとり」を持って楽しい学校生活を送ることができ、都会からの仲間を加え多くの生涯の級友と人生生活の原動力を授与頂けたと顧みています。

二年生までに、軍事教練、農作業、開墾作業等のいわば体験学習を終え、三年生以降、学科中心の本格的授業ができるようになり、特に、基礎の習熟に重点を置いた先生方の熱心な温かいご指導が瞼に残っています。私は高校では理系コースで特に数学と英語に注力しご指導戴き、進学エンジンの研究開発・設計の職業に半世紀近く取り組むことができました。

また、毎年、関東地域の同窓会などで先輩後輩を交え級友と懐かしく旧交を暖めています。

関西支部



帝国ホテル大阪
ペガサスの間にて

二十一世紀最初の関西支部同窓会を開催する桜満開の桜宮公園が見える「帝国ホテル大阪」二十二階、ペガサスの間で、本部から翠同窓会長、新井校長、戸田事務局長のご臨席の下、同窓生32名の出席で開催致しました。

総会では来賓の祝辞の後、役員改選の議題が提案されましたが、全員の留任が決議され終了しました。懇親会に移ると総会時の雰囲気と違い、美味しい料理とお酒のせいもあって和らぎ、皆が学生時代に戻りなごやかな内に終わりました。帰りは同級生同士で満開の花見解散となりました。

平成13年度支部総会が6月9日(日)、名古屋駅前毎日ビル国際サロンにおいて開催。本部から翠会長、新任の新井校長、戸田事務局長の御臨席をいただき、会員22名の参加を得て、総会に統いて懇親会が始められました。青春時代の想い出を語り合い、和気あいあいのうちにまたの再会を約束し、解散となりました。

本支部もざることながら、関東・関西支部の益々の発展をお祈り致します。

生きる事の大切さ

副支部長 林貞雄

(昭和32年卒業)

支部長 栗本和幸

平成不況も10年に及び今だ希望の星のみえない状況です。私共卒業時（昭和32年）も戦後の荒廃から新し



岐阜県立本巣高校同窓会 名古屋支部総会 於 名駅前毎日ビル国際サロン 平成13年6月9日

“皆さん、若わかしい”
毎日ビル国際サロンにて

名古屋支部

い経済生活づくりの途上にあり、厳しい就職環境がありました。それでも、戦後復興を目指し、人々には強い希望がありました。戦後、日本社会の構造の家族制度、農地制度、教育制度の大改革があり、旧来の人々の考え方、生き方、生活観も様変わりしました。物質的な豊さの代償に失ったものは多く、その一つに、『生きる』という基本的な事が見失われたように思います。この世に『生きる』を受け、なぜ生きていくのか、『生』を受け、なぜ生きていくのか、という、基本を曖昧にせず、自分の人生を世界の人々とどのように係わり生きるか。21世紀は、『グローバルな社会、少子高齢化社会』新しい視点で、『生きる』という喜びを自らつかむ事が、大切だと思います。

顧問	正明義勝	久直子
会長	忠君子	茂雄
名誉会長	弘澄行	智
副会長	大野真弘	原木直
監事	古田義昭	林原村智
常任理事	浅井輝夫	美代子
	森忠	大西美代子
	春日井暉	山田悦子
	内藤忠	鶴見悦子
	丸毛	鶴見悦子

(平成13年8月～平成14年7月)

伝統ある女子バレー部 全国大会に



本校は石川県の鹿西高校と21日の第一試合に対戦することになった。

部員は18日に東京に移動し、試合に向けて最後の調整に入った。一方応援団は、試合当日の午前0時に本校を出発し、8時に代々木に到着した。現地では部員の保護者会と母校の出場を祝つて駆け付けた同窓会関東支部の面々、合わせて約百人が一戦勝利を願つて応援した。

第三十三回全国高校バレー部選抜優勝大会県大会の決勝で岐阜女子商業高を3対0で破り、二年ぶり十度目の優勝を飾った本校は、3月20日から東京・国立代々木競技場で行なわれる全国大会に出場を決めた。

3月2日に組み合わせが決まり、試合は第一セット20対25で落とし、第二セットは25対19で取り、そして第三セットは同点にまで追い上げたものの、惜しくも19対25で負けた。

昨夏のインターハイ経験者6人が川さんも優秀賞を受賞しました。

頑張ります

家政科

○パツチワークで最優秀賞

「第二十二回ホームソーサイニングコンクール」小物・インテリア部門にパツチワークを出品した年の境さんは、全国二百九十三校、二千十六点の応募の中で、見事最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞。また三年の井

- その他主な賞
- ・第二十回牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会 優秀賞（県知事賞）、優良賞
- ・第十一回東邦ガス高校生クッキングコンテスト
- ・日本和裁士会会長賞
- ・第二回鶏卵・鶏肉コンクール岐阜県大会 優秀賞、奨励賞
- ・第十四回ヤングライスクッキングコンクール県大会 コンテスト
- ・第七回全国高校生クリエイティブコンテスト
- ・第二回鶏卵・鶏肉コンクール岐阜県大会 優秀賞、奨励賞

筝曲部

全国高校合奏コンクール 最優秀賞
県高校総合文化祭 金賞

美術部

全国高校生美術祭 優秀賞1名
高校生デザインコンクール優秀賞
全国高校生デザインコンクール優秀賞

書道部

岐阜県美術展 青年部 優秀賞
県高校総合文化祭 優秀賞

飲む結果となってしまったとはいえた。同窓生の一人の方が「来年も残っている。」という声が脳裏にいつまでも

を擁する鹿西高にあと一步で涙をえ、本巣らしさは随所に輝いていた。同窓生の一人の方が「来年も残っている。」という声が脳裏にいつまでも



◀ 約百人程の応援団

部活動報告

運動系

女子バレー部

宮城国体出場 5名

東海総体

東海選抜大会

県総体兼全国・東海総体予選

準優勝

優勝

準優勝